

・^{らく}楽な子育てはないネ でも ^{たの}楽しい子育てはあるネ・・^{らくてん}楽10の学び・

はじめに

何のために学ぶのでしょうか。何のためではありません。学ばなければならないことがあるから学ぶのです。子育ての学びの場は、家庭教育学級です。

1 「はい」の返事で あなたの家庭は楽しくなるヨ !

(「はい」は、はい上がり・「うん」は、運下り) と、私は教えられました。「はい」で、家庭は楽しくなります。

2 「多逢聖因」(たほうしょういん)・・・どんな意味？

安岡正篤氏の本に「多逢聖因」という言葉が出てきます。

人間は、できるだけいい機会、いい場所、いい人、いい本、いい言葉に多く出逢うと、よりよく成長できるという意味です。オリンピック選手も、いい機会といい人に出逢っています。旭化成の宗兄弟は、6年生のとき、担任の言葉に背中を押されて陸上競技の道へ進み一流選手になりました。私は、長男で農業後継者になるつもりでしたが、中学2年のとき、「二十四の瞳」(壺井栄)の本に出逢って、教師への道を進むことにしました。これから、子どもさんの未来には、どんな出逢いがあるのか楽しみです。



3 子どもの可能性の芽を摘んだら 大変ですよ !

「ダメな子だね」「こんなこともできないの」は、子どもに自己否定感をもたせます。子どもは自信を失い意欲も無くします。私は、小学生の頃、走るのが苦手で運動会はいつもビリでした。そのたび、「親に似てお前も遅いね」と言われて、自分でもダメだと思っていました。ところが、高校で往復 30Kmの遠距離自転車通学、大学でラグビーをしたことで、いつの間にか速く走れるようになっていました。「人間には、だれにも可能性がある」ことに気付かされました。

可能性の芽を摘む言葉をつかわなければ、子どもさんは伸びます。楽しい子育ては、「ダメ」「できない」の言葉をつかわないことです。

4 あなたの子どもさんの「よさ」をいくつ言えますか？

瞬時に、5つ言えたら合格です。「よくないこと」は、すぐ目に付きますネ。でも、「よさ」は、なかなか分かりません。「みんなちがって みんないい」これは、金子みすずさんの言葉です。地球上に75億人住んでいますが、みんな顔は違います。それと同じように、一人一人が違った「よさ」の資質や能力をもっているのです。世界にたった一人の子どもさんです。みんながもっていない「よさ」を、子どもさんがもっていると思うだけでワクワクしませんか。

5 子どもの「よさ」がかくれているヨ。みつけるコツは ☞ 「意識」「観察」「比べない」

何となく子ども見ていては、「よさ」はみつかりません。

- ・「どこかいいことはないか」と、「意識」するのです。
- ・何となく「見る」のではなく、観察して「観る」のです。

「3ついいところを観つけるぞ」・・・「あったー 1 2 3」

- ・他の子どもと比較しません。兄弟姉妹で比べるのは最悪です。「比べることを止めない親は、楽しい子育てはできないし、一生幸せになれない」と言った人もいます。

どんな「よさ」がかくれているか見つけるゲーム「かくれんぼ」を楽しみましょう。



6 「よさ」が みつかったら、ほめる ! ほめられると脳が喜ぶヨ !

「よさ」をみつけたら必ずほめます。なぜ、ほめるのでしょうか。

子どもは、「ほめられたい」「認められたい」「励まされたい」という「承認欲求」をもってい

ます。ほめられたら、脳が喜びます。ほめるほうも、脳が喜びます。親子とも、脳が喜ぶから気持ちよくなり、楽しい家庭になっていくのです。

ほめ言葉は、数えきれないほどあります。

ここでは、ほめ言葉の基本を紹介します。



○「さ・し・す・せ・そ」の「さ行」の言葉です。

「**さ**すがだネ」「**し**っかりしているネ」「**す**ごいネ」「**す**ばらしいネ」「**世**界一だネ」「**そ**うだネ」の言葉です。語尾には「ネ」を付けます。

○ 失敗をしたり、うまくいかないときは、「だ・で・ど」の「だ行」の言葉です。

「**だ**いじょうぶだヨ」「**で**きるヨ」「**ど**うにかなるヨ」の言葉です。語尾は「ヨ」です。

7 笑顔は1000000馬力！

「親の笑顔は、子どもにとって最高の心の栄養となります」 親が笑顔で接すると子どもの心は、すごく安定します。また、「笑顔は最高の化粧になります」笑顔の素敵な人は、化粧をしている人より百万倍魅力的です。以下は、瀬戸内寂聴さんの言葉です。

・「幸福は笑顔が大好きです。いやなことも、笑って浄化しましょう。不幸は悲しい顔をすること怒ることです。仏教に『和顔施』という言葉があります。相手に笑顔を施すことが一つの徳になるのです。」・・・笑顔が溢れる家庭は、それだけで最高の幸せがあり楽しい家庭なのです。

8 「上り坂・下り坂・まさか」いろいろあって楽しいネ！

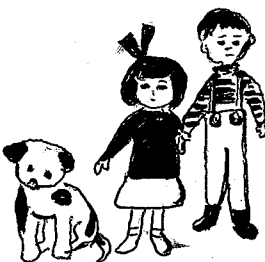
子育て中、「上り坂」のときがあります。何もかもうまくいきます。

逆に「下り坂」もあります。よくないことが次々に起きます。

そして、突然やってくるのが「まさか」です。「えっ！うちの子が1位！」。

「えっ！うちの子が万引き！」。プラスとマイナスの「まさか」です。

真っ直ぐ道を歩く人より脇道に入って歩く人の方が道は詳しくなります。



子育ても「上り坂・下り坂・まさか」の3つの「さか」に出逢い、いろいろな経験をしていく方が楽しいと思いませんか。「名人」と言われる人は、「迷人」のときを経験しています。

9 鍛えることは可愛そうなこと？ たくましく成長してほしいと思いませんか？

西郷隆盛は、鍛錬の「鍛」は同じことを1,000回繰り返すこと。「錬」は同じことを10,000回繰り返すことと説いています。1つのことを身に付けるためには、繰り返しが大切です。歩いて登校することは、子どもさんの心身を鍛錬するのに絶好の場です。甘やかし過ぎて車で送迎することで、鍛錬の機会を奪っています。心身が鍛えられていないと、壁にぶつかったとき、すぐに萎えてしまいそうで心配です。子どもさんが、生まれたとき、心身共にたくましく健康に成長してほしいと願いましたネ。たくましく成長する姿を見てみませんか。楽しいですヨ。

10 「続ければ本物になる」これは、私の大好きな言葉です。

東井義雄氏の言葉です。「継続は力なり」とも言われます。一番難しいことは、根気よく続けることです。コツコツコツコツコツコツコツ・・・上手になるコツは？ しつけのコツは？ 出来るようになるコツは？ 答えはコツコツコツコツ・・・です。どんな方法であっても、コツコツと根気よく続けた人には敵いません。子育ても、続ければ本物になる楽しさが待っています。

おわりに

○ 宮澤賢治の「雨ニモマケズ」を参考にして、子ども達への励ましメッセージ「雨にも負けず」を別紙のとおり創作しました。親子で楽しく読んでみてください。ゆっくりと読んでネ。

○ コロナ禍で、2月の家庭教育学級が中止になり残念です。楽しみにしていたのに・・・。次の機会を待ちます。

文責 みやざき家庭教育サポプロトレーナー

福留 健一 (西堤 在住)

